

I. 調査概要

1.調査日：2023年3月9日

2.調査対象者：本学介護福祉学科2年次生21名 回収数（回収率）：21通（100%）

II. 調査結果

1. 調査対象者の属性

1) 性別

本調査に回答した2年次生（以下、「学生」）の性別は、女性14名（67%）、男性7名（33%）であった。

2) 入学試験の選抜方法

入学試験の選抜方法については、「一般入学試験」（8名，38%）「指定校制推薦入学試験」（6名，28%）が最も多く、次いで、「自己推薦入学試験」（4名，19%）、「公募制推薦入学試験」、「社会人・学士等入学試験」、「未回答」がそれぞれ（1名，5%）であった。

3) 本学へ進学してよかったか

「本学へ入学してよかったか」について、よかったと「思う」から「思わない」の4件で回答を求めたところ、「よかったと思う」（17名，81%）、「少し思う」（3名，14%）と回答した。未回答（1名，5%）であった。

4) 卒業後の進路（表1）

卒業後の進路については、就業先として、「社会福祉法人」（9名，43%）、「民間企業（福祉・医療）」、「未定」がそれぞれ（3名，14%）の順に多かった。

表1.卒業後の進路（N=21）

就職先	人数	就職先	人数
社会福祉法人	9	家業を継ぐ	0
医療法人	2	公的機関（福祉・医療以外）	0
未定	3	公的機関（福祉・医療）	1
民間企業（福祉・医療）	3	民間企業（福祉・医療以外）	0
進学（含む編入学）	1	未回答	1
その他	1	合計	21

2.2 年次（この1年間）の学びについて

2年次に履修した科目の理解について、4件で回答を求めた（図1）。

理解できていると「思う」との回答が最も多かった科目は、「2.生活支援技術V（終末期の介護）」（15名、71%）、「7.医療的ケアに関する知識」（12名、57%）の順であった。

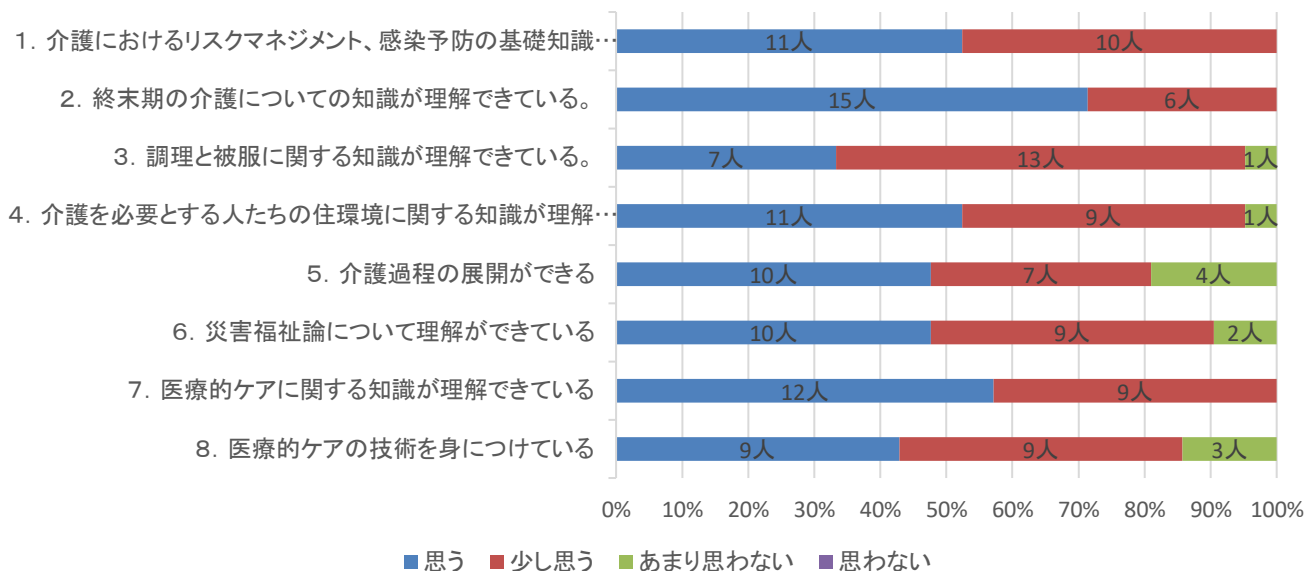


図1. 2年次に履修した科目の理解度（N=21）

3. 授業への取り組み

3-1) 授業への普段からの取り組み

授業への普段からの取り組みに関する項目について、「あてはまる」から「あてはまらない」までの4件で回答を求めた（図2）。

「あてはまる」の回答が最も多かったのは、「4.履修登録した科目は途中で投げ出さない」、「7.授業で出された宿題や課題はきちんと行う」がそれぞれ（15名、71%）であり、次いで「2.授業に必要な教科書、資料、ノートなどを毎回持参する」（14名、67%）の順であった。

一方で、「あまりあてはまらない」の回答が多かったのは、「1.授業の予習をする」（9名、43%）、「6.授業でわからなかったことは教員に質問する」、「11.グループワークやディスカッションでは、進んでまとめ役を行う」（7名、33%）の順であった。

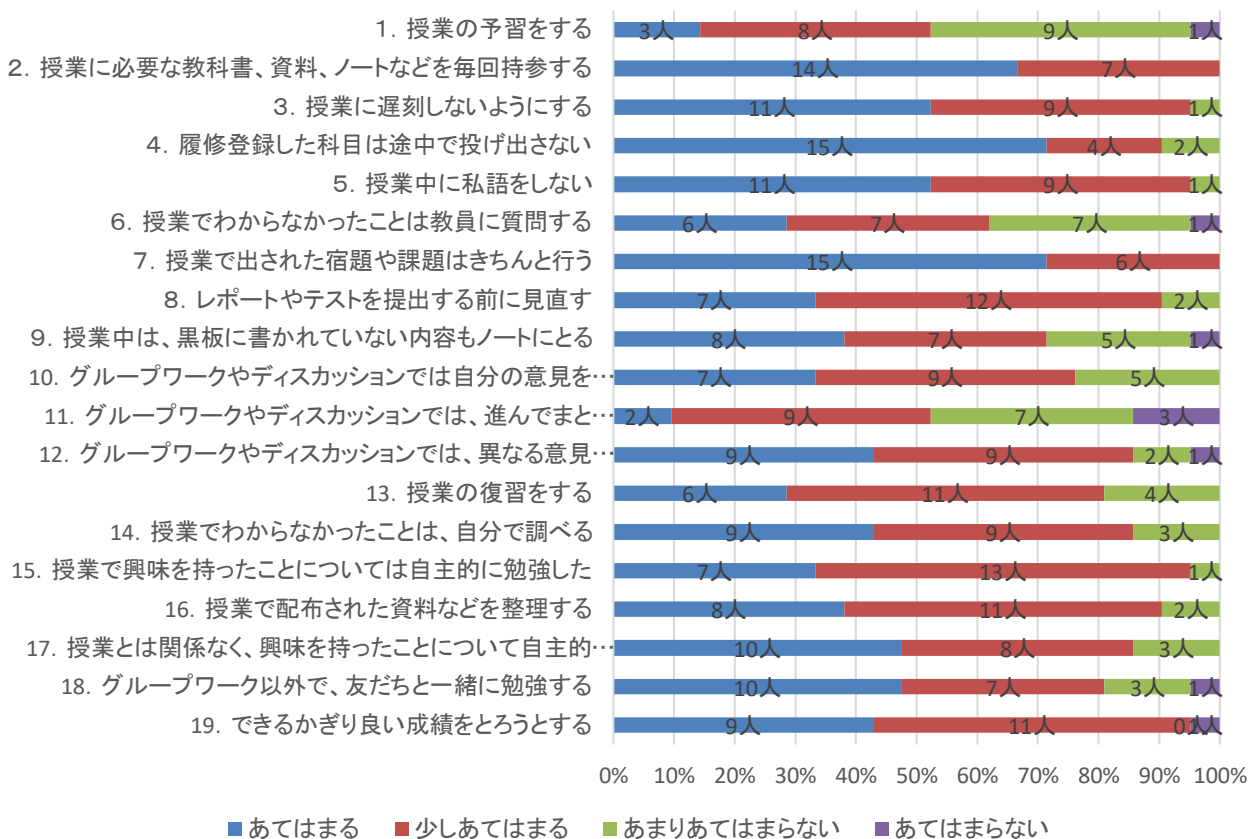


図 2. 授業への取り組み (N=21)

3-2) 1年次の時と比べての変化

現在の学習時間や授業への出席状況等の 8 項目について、1 年次生の時と比べてどのような変化があったのか回答を求めた (図 3)。

学習時間については、「4.授業以外での勉強時間」、「5.定期試験に向けての勉強時間」、「6.提出課題(レポート等)に取り組む時間」について 6 割以上が「増えた」、「少し増えた」と回答していた。

授業への出席状況についての項目では、「減った」、「変わらない」と回答する学生が多かった。

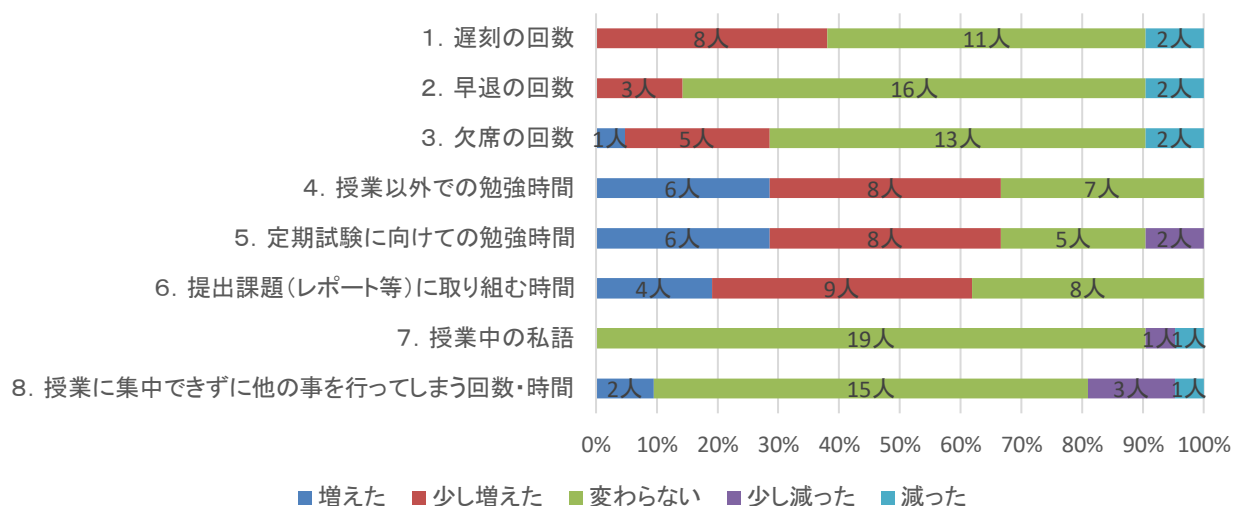


図3. 1年次の時と比べての変化 (N=21)

4. 社会人基礎力

本学での2年間の学びを通して基礎学力・専門知識、社会人基礎力の項目が身についているかどうかを「思う」から「思わない」までの4件で回答を求めた(図4)。

身についていると「思う」と回答したのが最も多かったのは、「29.決められた約束事や、社会的な常識、規律を守る習慣」(14名, 67%)、次いで「16.自分の意思で判断し、行動する力・態度」(13名, 62%)であった。

一方で、「6.他人と協働したり、集団で活動したりする場面でグループをまとめる力(リーダーシップ)」、「10.PCスキル、ITを活用する力」、「18.やろうじゃないかと呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく力」については、身についていると「あまり思わない」、「思わない」と回答している学生が多かった。

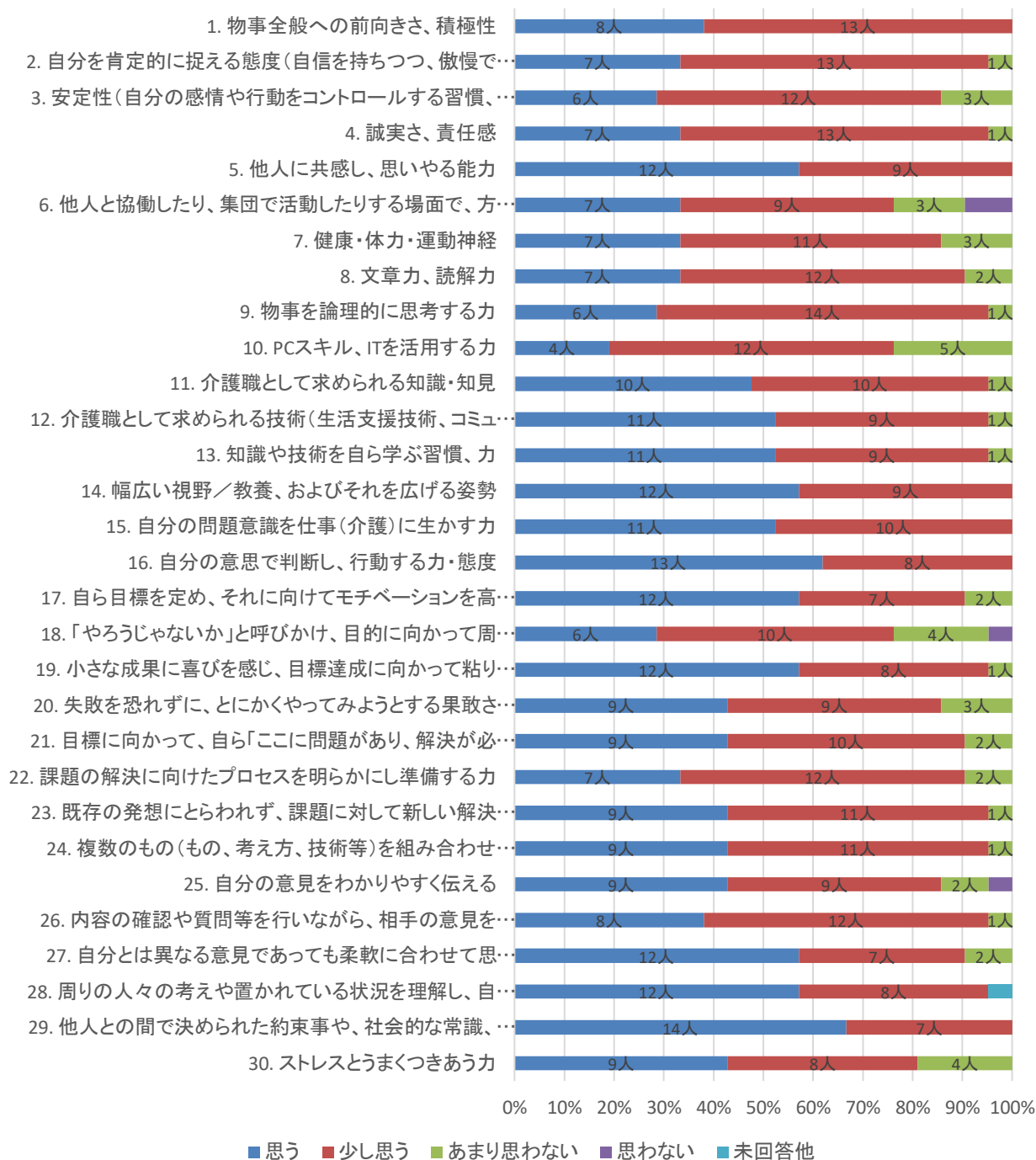


図 4. 社会人基礎力 (N=21)

5.現在の学習に関する到達度

現在の学習に関する到達度 16 項目について、「思う」から「思わない」までの 4 件で回答を求めた（図 5）。

16 項目中 13 項目について、9 割以上の学生が到達していると「思う」、「少し思う」と回答した。一方で、「14.他者が読んでわかる記録を書くことができる」、「15.誤字・脱字のない記録を書くことができる」については、到達していると「あまり思わない」、「思わない」と回答する学生がみられた。

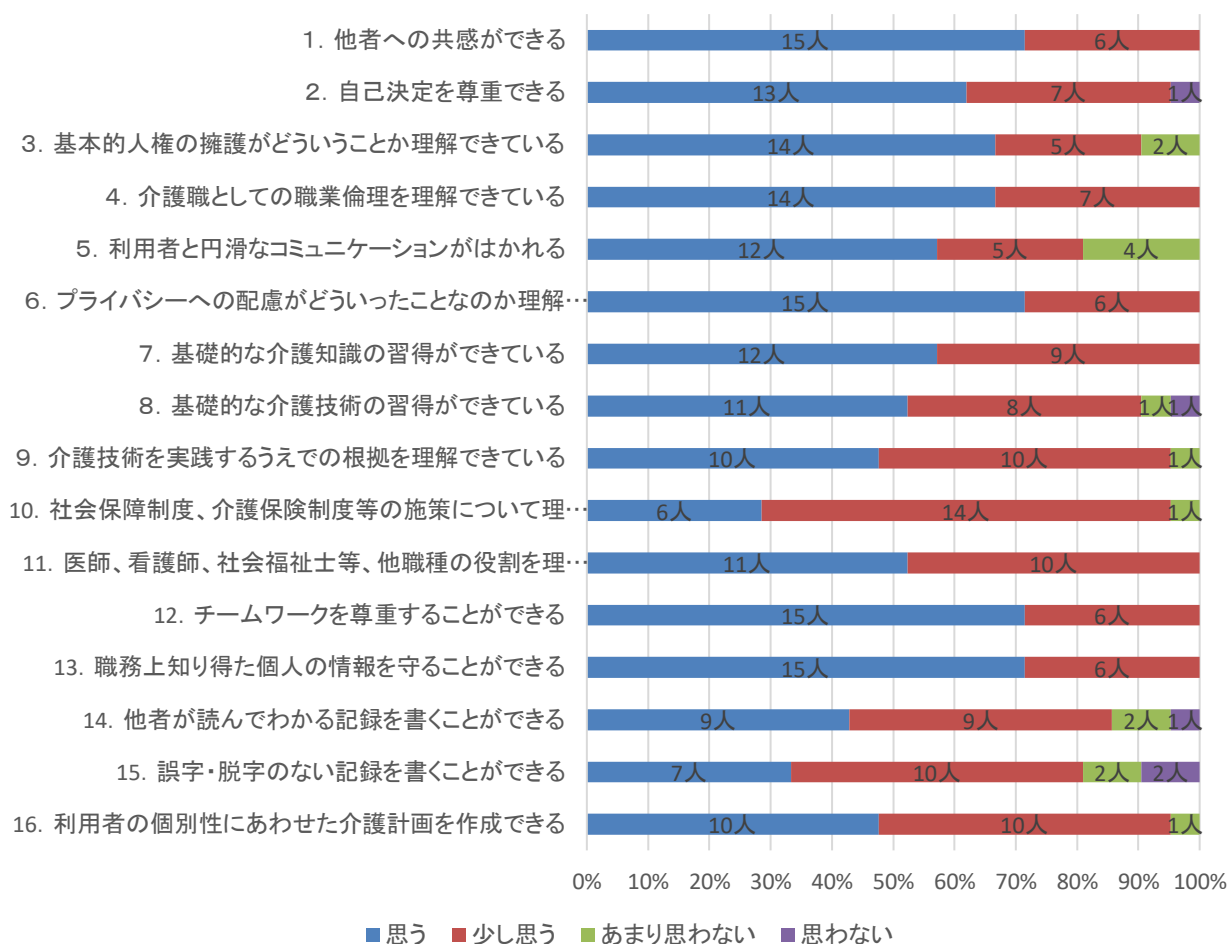


図 5. 資格取得時の到達目標 (N=21)

6. 卒業後に取得したい資格等

卒業後に取得したい資格等について複数回答にて回答を求めた（表 2）。

「介護支援専門員」（11 名）が最も多く、次いで、「社会福祉士」（5 名）、「認定介護福祉士」、「精神保健福祉士」（4 名）の順であった。

表 2. 卒業後に取得したい資格等

資格他	数	資格他	数
介護支援専門員	11	四年制大学への編入	2
社会福祉士	5	精神保健福祉士	4
認定介護福祉士	4	大学院への進学	1
認知症ケア専門士	2	その他	0
保育士	0	保健師	0
特になし	1	作業療法士	0
看護師	1	理学療法士	0

7. 介護職として働くことについて

卒業後、介護福祉士として施設・病院等で働く予定の学生を対象として、介護職として働くことに関する 11 項目について「思う」から「思わない」までの 4 件で回答を求めた（図 6）。

介護職として働くことへの心配事として「思う」との回答が最も多かったのは、「6. 夜勤に慣れることができるか心配だ」、「7. 職場の上司と上手くいくか心配だ」、「8. 職場の同僚と上手くいくか心配だ」（9 名，43%）であった。

また、介護職からの転職意向等に関する項目については、3 項目すべてにおいて約半数の学生が学生が「あまり思わない」、「思わない」と回答していた。

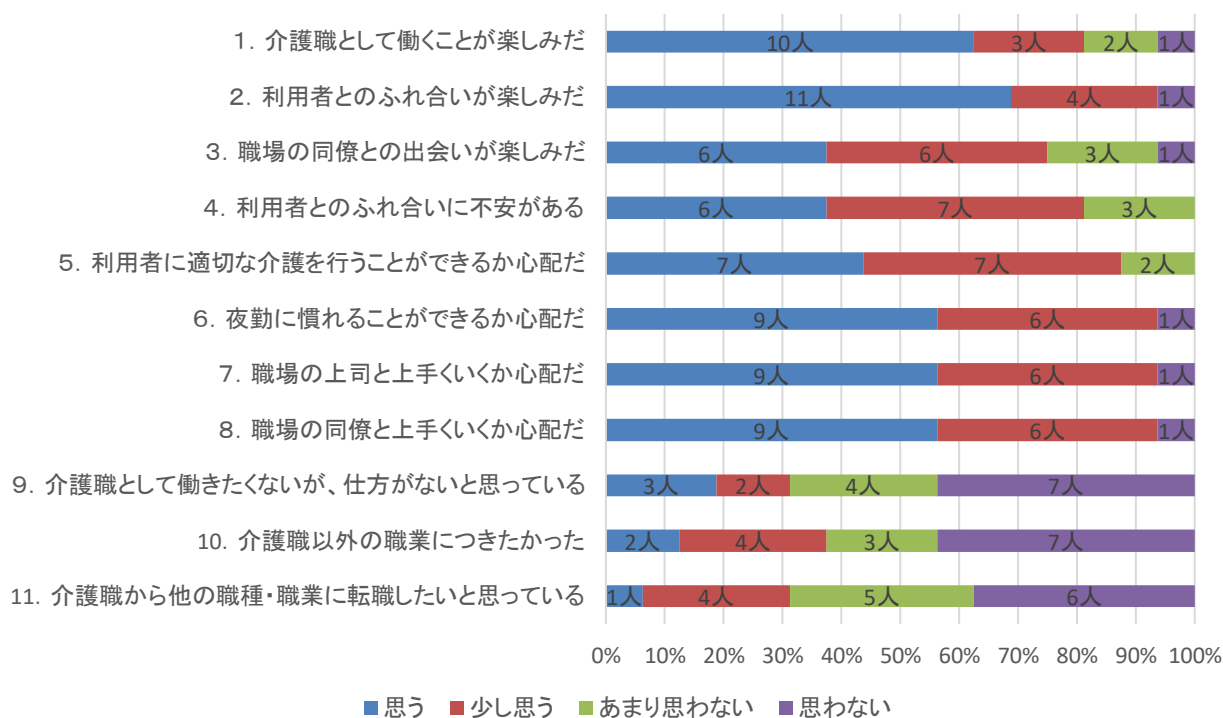


図 6. 介護職として働くことについて (N=21)